

東日本大震災河川災害復旧工事における 環境配慮への取組み

概要

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の河川災害復旧工事の実施にあたり、環境に配慮した取組みを行っております。その取組み事例について、紹介いたします。

取組み事例

環境等への配慮方法の検討

- ▶ 河川・海岸災害復旧工事の実施にあたり、「景観」、「環境」、「利用」のそれぞれの視点について配慮すべき事項を検討し、災害復旧工事に反映しています。
 - ・（主な取組み）・・・覆土、寄石、松並木の保全、動植物の移植等

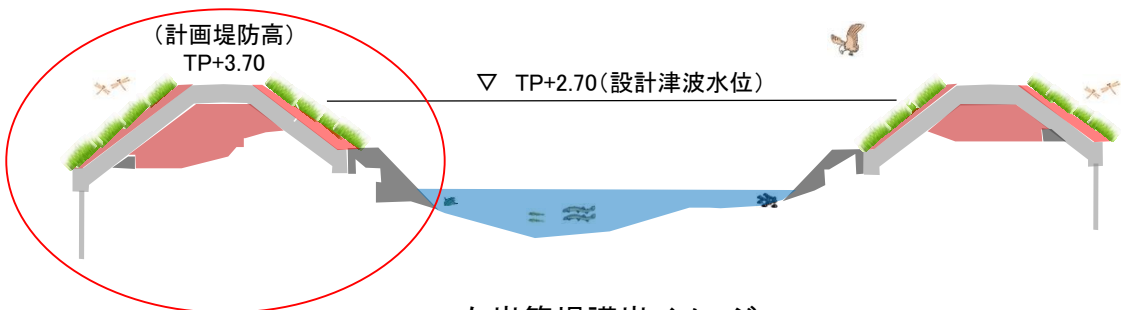
宮城県環境アドバイザー制度の活用

- ▶ 災害復旧工事の実施にあたり、環境の各分野（魚類・植物等）の専門家・学識者の方々を「宮城県環境アドバイザー」として登録しています。
- ▶ 復旧工事の環境配慮事項について、各河川・海岸の現場特性に応じて選定された環境アドバイザーから助言・指導をいただいております。
- ▶ これらの助言・指導をもとに環境への配慮を行うとともに、施工中や施工後においても必要に応じ助言・指導をいただき、環境に配慮した復旧工事を進めています。

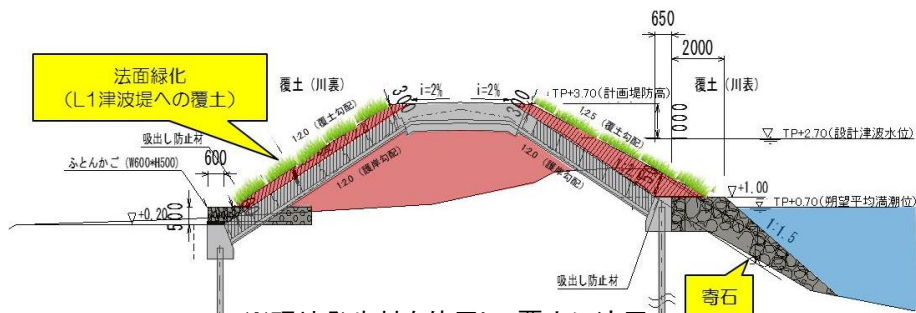
現場での取組み事例

復旧工法 自然環境に対して粘り強く強靱な沿岸地域の構築を目標として掲げる一方で、**自然環境との調和や河川、運河にふさわしい魅力的な景観の保全や創出力を図り**、環境アドバイザー制度の活用等を経て、環境に配慮した災害復旧工法を可能な範囲で採用しています。

覆土及び捨石施工イメージ



左岸築堤護岸イメージ



※現地発生材を使用し、覆土に流用。
※上記は、運河のイメージ。
※河川は、川表のみ覆土を実施。

主な現場での取組み状況

▶ 北上運河河川災害復旧工事・南北上運河河川災害復旧工事



寄石・覆土状況(北上運河)



寄石・覆土状況(北上運河)



ヨシ生息状況(北上運河)



植物の移植・移動生物放流状況(南北上運河)

▶ 皿貝川河川災害復旧工事



覆土状況



寄石状況

▶ 五間堀川河川災害復旧工事(貞山運河)



寄石・覆土状況



松並木の保全状況